

「小湊小・中学校の跡地活用を中心とした地域の活性化について」
(報告書(案))の修正について

第6回100人会議における意見等を踏まえ、報告書(案)を次のとおり修正します。

●意見1

現状では、駐車場の規模が小さい。施設が稼働していく中では、従業員が車で通勤することも考えられるので、施設整備にあたっては、その点を留意していただきたい。

⇒ 報告書(案)12ページ

Ⅲ 駐車場

修正前：

「既存の駐車場を活用することを前提とし、必要に応じて敷地内の空きスペース等への整備を検討することとします。」

修正後：

「既存の駐車場を活用することを前提とし、施設の利用者だけでなく従事者のニーズを充足させるため、必要に応じて敷地内の空きスペース等への整備を検討することとします。」

●意見2

11ページに「地域の産業を伝承する空間の整備」とあるが、資料2(第5回100人会議記入シートまとめ)では「地域の産業・文化を伝承する空間の整備」となっている。我々の分科会(第2分科会)では、産業・生業としての漁業ではなく、地域の文化としての漁業について議論をしてきた。したがって、報告書で「文化」という言葉が抜けていることについては、「スポーツ・文化」の「文化」に含まれるとの理解で許容するとしても、説明文については内容の検討をお願いしたい。

⇒ 報告書(案)11ページ

修正前：

「◆地域の産業を伝承する空間の整備

小湊地域で以前は盛んだった漁業は、全国的に見ても後継者不足など課題を多く抱えています。これらの価値や魅力をまずは小湊地域の人たちが再発見し、さらにその魅力が地域外にしみ出るような機会や場を提供していきます。」

修正後：

「◆地域の産業・文化を伝承する空間の整備

小湊地域で以前は盛んだった漁業は、全国的に見ても後継者不足など課題を多く抱えています。産業としてだけでなく、伝統的に培われてきた地域文化としての価

値や魅力をまずは小湊地域の人たちが再発見し、さらにその魅力が地域外にしみ出るような機会や場を提供していきます。」

●意見3

報告書で1点気になっているのが、「稼ぐ施設」という表現である。

稼ぐことはもちろん重要であるが、稼ぐことがノルマになってしまうと、働く人たちがノルマをこなすために集まってくることになってしまう。

いつまでも税金を投入するという時代ではないので、ランニングコストがまかなえて、数十年後に建て替えるという計画は作る必要があるが、第一に稼ぐということを持ってくるのは、ちょっと違うと思う。もう少し新しいやり方があるのではないか。

⇒ 概要版 下から3行目

修正前「・稼ぐ施設として、運営費の税投入は可能な限り抑えます。」

修正後「・運営費の税投入は可能な限り抑えます。」